子ども達へ社会資本になる住まいを残そう「祖父母が遊びに行きたくなる若者のお家」

「スローな住まいづくり」、元気で自立した生活ができる住まいを提唱されている「よかもんを残す会」の(有)江口建設の江口宏彰社長に「よかもんを残す会」の取り組みについて伺いました。

(有)江口建設
代表取締役 江口 宏彰さん
Eguchi Hiroaki

祖父母と孫が楽しく集える二世帯住宅

3年前から「よかもんを残す会」の皆さんが「天然葉枯らし乾燥木材でお家を作ろう」・「車みたいに乗換えの利かない一生一大の住まいは一生使えるものでなければならない」・「家を売るのではなく、家族の方と寄り添いながら家を造りあげる」と活動されています。これからどのような住まいを提唱されるかお聞かせください。

「私の家族は3世代」緒に暮らしています。一時期は4世代、子どもたち・祖父祖母たちが仲良く助け合いながら時には、ある一定のプライバシーを持ち仲良く生活しています。できればそのような二世帯住宅をたくさん造りたいですね」。

何故ですか?

「これから2025年をピークに最高齢社会へ向かっていきます。以前は生まれてきた孫たちの面倒を祖父母たちが看てやり、終末期になった祖父母を子供や孫たちが看る農耕型の社会でした。私の祖父母も私たちを可愛がってくれ、大先輩として見習うことを沢山与えてくれました。『祖父母と孫が楽しく集える二世帯住宅』は私の体験から推奨します。でも残念ながら、核家族化して将来ご夫婦だけで暮らしていくお家が増えていて老々介護が当たり前になりつつあります。その環境の中で私たち地元密着の工務店がやらなければならないことは『病気や加齢で体力的に自立した生活ができなくなっても少しの介助で自立した生活ができる住まい』を造り上げることです。これから少子化になれば行政は今のような介護サービスができなくなると思います。『自分のことは自分で』になるでしょう。私も数十年で仲間入り(?)です」。

佐賀県産木材を使った「スローな住まいづくり」

どのような住まいにしておけば私たちが暮らしやすいお家になるのでしょうか?

「どのような状況になっても自分のお家に出入りできるようにしておくことです。例えば、江頭さん貴方が交通事故に遭って歩けなくなって車椅子のお世話にならければいけない状況になった時、お家の中に入れますか?何とか人の手を借りてお家に帰れても自分で排泄できる環境のトイレですか?」

そうですね、今の住まいでは車椅子生活になった時には生活できないと思います。

「私たちは今の子供たちが子育て中心のライフスタイルだけに特化した住まいを購入している事に危惧を抱く事があります。自宅での子育ては長くても16年間、その30年以上その家で暮らしますが、居室が2階だけ、車椅子生活になった時入れない自宅、『住まいは家族を守る器』と言われていますが現状は社会資本に程遠いお家が見受けられます。そこで、県民の皆様に『祖父母が遊びに行きたくなる若者のお家』のモデル住宅を今回提案したく着工しました。完成したら是非見学に来てください!」

その時には是非見学に来ます。

「スローな住まいづくり」はお施主様と今だけのライフスタイルだけではなく一生のライフスタイルを考える時間をじっくり取る社会資本になるお家づくりですね。それまでの時間をお天道様のエネルギーで木材を乾燥させて佐賀県産木材を使い地産地消で地球環境を守るということですね。

「そうです。今すぐお家を建てる人より、これから家族のことを考えて次世代に残せる住まいを持ちたい人『よかもんを残す会』へご相談下さい。また、ご自宅を持たれてこれからの住まいに不安を感じている方もお気軽にご相談ください」。

建てたら終りでなく、建ててからが始まり

不安なことがいっぱいの世の中ですが、何か心配なことがありますか?

「そうですね、建築材料の進化により以前よりお家の老朽化は少なくなりつつありますが、メンテナンスや修繕は必ず発生いたします。そのような時、建てたお家は我が子同然と思いお世話できる建設会社の存在が少なく感じます。建てたら終りでなく、建ててからが始まりと思う我々のような会が増えることを期待します。私たちの会では国土交通省のグリーン化事業(長期優良住宅・低炭素住宅・ゼロエネルギー住宅)にもチャレンジして当社も国の補助金をお客様が受けられるよう申請手続きを行い住宅性能が上がるお世話もたくさん行っています」

困っていることに気づいてないことが生活者の我々ですね。そこを顕在化してアドバイスしてくれる「よかもんを残す会」の江口社長。暮らし方・建築のプロの皆様から見守ってもらいたいです。

取材/江頭正敏

◀木のお家…っていいですね〜

▲住まいは家族を守る器です。

▲2世帯住宅の事例図面。

▲富士町の山林にて育った木材を使用。

▲使用される木材の加工も手作業で行われます。

私たちはさがの木材を使用した家づくりを応援しています

—よかもんを残す会—

有限会社 江口建設
佐賀市東与賀町大字田中22-7

大坪工務店
佐賀市川副町大字早津江89-8

嘉村建設
佐賀市本庄町大字鹿子258-3

古賀建設
佐賀市川副町大字南里1328

志波建設
佐賀市木原1丁目7-5

副島工務店
佐賀市川副町大字早津江2641

有限会社 遠江建設
小城市三日月町久米1252-1

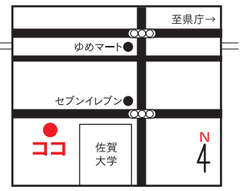
株式会社 遠江工務店
佐賀市兵庫南4丁目8-6

中村建設
佐賀市諸富町大字徳富1156-1

株式会社 春建設
佐賀市嘉瀬町大字中原2015-11

有限会社 武藤工務店
佐賀市木原2丁目1-25

(株)山口新建木材センター
佐賀市本庄町本庄530-1

Plaza newsmaker 0000

よかもんを残す会事務局
佐賀市本庄町本庄530−1
■TEL/0952-29-3333
■FAX/0952-23-3399